部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹平 裕二	電話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9811	事務事業名称	水洗化促進費	短縮コード	経常	9811	臨時					
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	05	普及促進費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等	八千代市下水道条例								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<ul style="list-style-type: none"> 水洗化促進の啓発パンフレット及び戸別訪問を行っている。 排水設備工事の竣工検査は排水設備の適正な接続を図るため、昭和43年から実施している。 平成20年度より公営企業法適用。 												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
水洗普及率の向上は図られてきており順調に減少しているため、継続的な普及活動を進める。					大項目 (節)	05	下水道					
					中項目	01	下水道					
					小項目 (施策)	01	汚水排水の整備					
					細項目	02	水洗化の普及					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	☐		計画事業期間	平成22年4月 ~ 平成23年3月		計画事業費	千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	整備済区域内の未接続世帯等						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと: ・水洗化促進の啓発 (パンフレットの配布等) のため訪問や文書配付。 ・整備済区域内の排水設備工事の竣工検査。 ※平成23年度に計画していること: ・水洗化促進の啓発 (パンフレットの配布等), 認可区域内の排水設備工事の竣工検査。 ・未接続世帯への早期着工文書発送を戸別配付し経費節減を計る。 ・既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付事務を行う。 ・新規排水設備工事の申請受付・設計審査・工事検査補助を委託し事務の簡素化を図る。						
意図 (何を狙っているのか)	水洗化の啓発及び促進により適正な排水設備の執行を図る。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	単位	21年度	22年度		23年度		
		実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	未接続件数 (年度末状況)	件	1,110	1,000	1,008	900
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	啓発パンフレット配付件数	件	81	150	78	150
	指標2	排水設備工事確認申請受付件数	件	681	700	718	700
	指標3	貸付件数	件	4	4	2	4
成果指標	指標1	竣工検査件数	件	679	700	691	680
	指標2	貸付金額	円	910,000	1,200,000	600,000	1,200,000
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9811	事務事業名称	水洗化促進費			所属名	給排水相談課
	単位	21年度		22年度		23年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	562	824	918	4,017
		その他	千円	562	823	738	4,017
主な事業費の内訳		排水設備データ処理等事務賃金898千円	排水設備データ処理等事務賃金1,056千円	排水設備データ処理等事務賃金835千円	水道事業会計負担金7,792千円		
人件費 (B)		千円	14,884.8	14,699.3	17,877.6	11,908.9	
トータルコスト (A)+(B)		千円	16,008.8	16,346.3	19,533.6	19,942.9	

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由				
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている	本事業の主な業務である水洗化の普及拡大の啓発に効果があり、普及率の拡大が図られる。				
		☐ 結び付くが見直しの余地がある					
		☐ 結びつきが弱い・ない					
		☐ 評価対象外事項					
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	水洗普及率が98%のことから、概ね達成されているものの、更なる拡大を図る。					
	☒ 達成していない						
	☐ 評価対象外事項						
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	啓発や確認申請・検査等の業務であり民営化にはなじまない。					
	☒ 可能性はない						
	☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい	未接続世帯を対象に水洗化の啓発や、適正な排水設備の竣工を図ることが事業の主体である。					
	☐ 見直す必要がある						
	☐ 評価対象外事項						
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある	排水設備の設計審査・現場確認業務及び総合受付・ファイリング等関連業務を委託することにより作業効率並びに局の人件費のコスト削減を図る。				
		☒ 効率性向上の可能性はある					
		☐ 両方可能性はある					
		☐ 可能性がない					
		☒ 民間委託等					
☐ 臨時的任用職員等の活用	2		実施主体 (所管部署)				
⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 類似事業との統合・役割見直し						
	☐ 上記以外の方法						
	☐ 評価対象外事項						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある						
	☒ ない						

コード	9811	事務事業名称	水洗化促進費			所属名	給排水相談課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☒ 改革・改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他		・確認申請書等データを整理し、マッピングシステムへ入力し活用することにより、水洗化地域等をより正確に把握し業務（通知、訪問等）の推進を図る。 ・平成22年度より、水洗便所改造資金貸付事務費と事業統合し、既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付事務を行っている。 ・排水設備の設計審査・現場確認業務及び総合受付・ファイリング等関連業務を委託することにより作業効率並びに局の人件費のコスト削減を図る。																							
			☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☐ 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>☒</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	☒	☐	☐	不変	☐	☐	☐	低下	☐	☐	☐	・再任用職員等の活用による経費の節減と、マッピングシステムの活用による効率化を図る。 ・未接続世帯への早期着工文書等を郵送していたものを配付とし経費の節減を図る。 ・排水設備の設計審査・現場確認業務及び総合受付・ファイリング等関連業務を委託することにより作業効率並びに局の人件費のコスト削減を図る。		
		経費																										
		削減	不変	増加																								
成果	向上	☒	☐	☐																								
	不変	☐	☐	☐																								
	低下	☐	☐	☐																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
未接続の解消については議会、監査からの意見がある。	

所属長コメント	再任用職員を有効に活用し、水洗化を促進したい。また、業務委託により排水設備関連業務及び窓口業務の充実とサービスの向上を図る必要がある。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☐ 現状のまま継続	再任用職員の活用、関連業務の委託等により業務の向上、コスト削減を図ること。